

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう oun
稲雲

第 2 号

令和4年 4月26日発行

発行者：校長 小貴 崇明



○授業参観・PTA総会・学年懇談

4月22日（金）の午後、令和4年度第1回授業参観と、PTA総会及び学年懇談を開催いたしました。5校時目の授業参観では、コロナ対策として入校時に体温チェックをすることはもちろん、出席番号の前半後半で参観時間を分けるなどの対策をとりました。お忙しい中、子どもたちの学ぶ姿、担任教師の指導姿勢などをご参観いただき、またPTA総会や学年懇談にご参加いただきありがとうございました。（PTA総会の決定事項は後日お伝えします。）

【授業参観から】



【学年懇談から】



○1年生を迎える会～ようこそ、23名のピカピカの1年生～

4月21日（木）に、1年生を迎える会を実施しました。コロナ対策として残念ながら9年生までの全校児童生徒での行事にすることは見送りましたが、前期課程（小学生）の最上級生である6年生が中心となって楽しい企画（クイズや寸劇）が光るお楽しみ会となりました。

最初は緊張していた1年生ですが、2年生が作った首飾りを首にかけてもらい、とてもうれしそうでした。会が進むに従って緊張が解け、1年生の元気な笑い声が体育館に響いていました。



○ランドセルはアフガニスタンへ

令和3年度、6年生（今年度の7年生）が自分たちのランドセルをアフガニスタンの子どもたちに送るプロジェクトに取り組みました。今年度になってそのプロジェクトの最終段階となりました。

（写真は、「ランドセルは海を越えて」HPより転載）

4月21日（木）、段ボールに文房具などと一緒に詰めておいた各自のランドセルをトラックに積み込んで、日本からの輸送船が出航する横浜に向け送付を完了しました。下の写真は輸送するトラックにランドセルを積んで見送りをしたところです。

稲田学園のランドセルは、横浜に着くと横浜港から出航するコンテナ輸送船に載せられます。

そして、輸送船はまずシンガポールに向かいます。次にシンガポールからパキスタンのカラチ港に別の船で輸送され、さらにカラチ港から陸路でアフガニスタンに運ばれるのだそうです。ランドセルを待っている子どもたちのもとに無事着いてほしいですね。



○今年の稲田学園運動会は5月14日（土）開催です

コロナ禍の出口はまだまだ見えませんが、今年も稲田学園運動会を5月14日（土）に実施する予定で準備を進めています。

来校する家族の皆さんも感染対策を徹底しながらも、子どもたちの躍動する姿や学校全体の一体感を感じていただけるような内容で、午前中の行事として実施したいと考えています。もちろん、リレーや鼓笛パレードなどの定番の内容を予定していますが、後期課程（中学生）が参加する競技もプログラムに入れており、応援に来られるご家族の皆様にとって稲田学園の素晴らしさを感じていただけるようにしたいです。（写真は昨年度の運動会の様子）



なお、当日確保できる駐車場には限りがありますので、自家用車で来られる場合は、相乗りするなど節車にご協力いただきますようお願いいたします。

★言葉と生きる(2) 「あせらず、くさらず、おごらず」

新年度が始まり中学生の各種スポーツ大会や練習試合が盛んに行われています。そして、中体連岩瀬支部陸上大会が5月18日に、支部総合大会が5月31日・6月1日に行われる予定です。県中、県、東北と上位大会につながる重要な大会ですから、特設陸上部、野球部、ソフトテニス部、卓球部、バドミントン部とそれぞれの活動に気合いが入ってきています。

以前勤務していた学校では全国レベルの選手（生徒）がいて、私は校長として全国大会の応援に行かせてもらえました。全国から集まった精鋭たちを間近に見たとき感じたことは、なんといってもその競技に集中する姿勢です。試合前の準備を淡々とし、試合中の多少の失敗を引きずらず、ただただ今できるベストを目指す・・・稲田学園の選手たちにも、このようなアスリートたちの姿勢を学んでほしいと思う今日この頃です。